

針ノ木古道

【報告者】K出

【日時】2017年9月6日～8日

【天候】雨

【参加者】O(想山会)、K出

《コースタイム》

9月5日 博多→名古屋

9月6日 名古屋駅→信濃大町駅→扇沢→黒部ダム(12時40分出発)→16時平ノ小屋

9月7日 6時20分 平ノ小屋→6時30分 平ノ渡場→6時45分 避難小屋→7時20分 南沢出合→9時40分 船窪出合→10時45分 船窪乗越→11時40分 船窪小屋

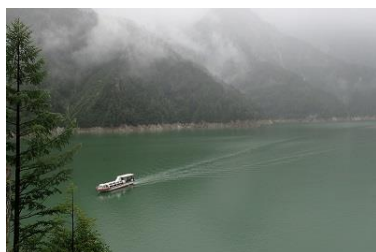
9月8日 6時20分 船窪小屋→6時40分 七倉岳→9時50分 七倉登山口

《 報 告 》

今年の夏休み、私にとっては初の北アルプス旅に行ってきました。想山会のOさんが以前訪れた際に船窪小屋のもてなしの温かさに感銘を受け、小屋のご主人が整備をした針ノ木古道を歩きたいと山行計画を練っていたところに便乗させてもらう形となりました。しかし1週間前から予報は雨。当初は予報が外れることを期待していましたが、結局予報はびくとも変わらず…。今回の旅のハイライトである針ノ木古道は沢沿いの道で10回くらい渡渉があることから撤退のリスクも考慮しつつ、心配性の私は沢靴も持参して9月5日に新幹線で名古屋に向かったのです。名古屋ではひつまぶしを食べ、世界の地ビール(名古屋駅近くグローバルホテル、良かったです♡)を楽しみ、就寝。

9月6日 期待と不安を胸に電車からバス、トロリーバス

を乗り継ぎ12時前には黒部ダムに到着しました。せっかくなのでダムの放水を眺めたり記念写真を撮りつつ、12時40分頃出発。小雨の降る中黒部湖沿いを淡々と歩き、小休憩をはさんで16時頃平ノ小屋に到着しました。平日なのと天気が悪いこともあってかその日の宿



泊は我々2人のほかは釣り人男性3人のみ。お部屋はゆったり2人で過ごせました。夕食はもつ煮やひじきなどおかず沢山、そしてピカピカのごはんをいただきました。山小屋でこんなに豪華なお食事がいただけるとは！そしてマニアック釣り人トークが止まらない。翌日に備えて我々は早々に就寝しました。



9月7日 5時半起床。ゆったり朝食をいただいた後、平ノ小屋のご主人の操縦による渡し船で間もなく平ノ渡場へ（6時発の予定でしたが割とそこはゆったりな感じで実際は20分頃発でした）。そこから10分ほど歩くと避難小屋があります。直前まで沢靴に履き替えるかぐずぐず迷っていましたが、Oさんの的確なアドバイス（「持ってきたんだったらせっかくだから履きかえたら？このあとはもう履き替えるチャンスはないよ」）にしたがい、沢靴に履き替え、20分ほどで南沢出合へ。そこからが今回の旅のハイライト、針ノ木古道です。基本的には沢沿いを小さな渡渉を重ねながら歩きますが、中盤に一か所高巻きがあります。雨の影響で増水していましたが、渡渉に大きな問題はありませんでした。沢靴を履いていたおかげで沢に入るストレスがかなり減ったため、荷物は少し重くなりましたが個人的には沢靴を持参してよかったです。Oさんはアプローチシューズ一足でしのいでいました。寒い時期ではないので翌日ちょっと気持ち悪いのを我慢できるなら問題ないと思います。船窪出合から船窪乗越までは風も強く、登りが少しきつかったです。踏み跡はしっかりあり、また雨ではあったものの視界は明るく、問題なく歩けました。とはいえ平ノ小屋を出発後、誰ともすれ違うことなくひたすら雨の中を歩き続けて約5時間…船窪小屋が見えてきたときにはかなりほっとしました。船窪小屋の先客は天候不良のため停滞中という山岳部の大学生(大変なツワモノ)が一人のみ、そのほかは誰も来ずのんびりゆったりと…何とも贅沢な時間でした。そしてこの日の夕食も天ぷらや角煮、煮物など山小屋でこんなに豪華な(以下略)！正直食べきれないほどで、大学生の若者にちょっと食べてもらいました…。船窪小屋は電気が通っていないため夜はランプを灯します。ずっと雨風は強かったものの穏やかな気持ちで過ごせました。



9月8日 相変わらず雨。少し風がおさまったところで6時20分に出発しました。3日目にして何のピークも踏んでいないことに気づき、一応七倉岳山頂を踏むことに。その時一瞬雨がやみ、きれいな虹がかかっていました。雨の山行も悪くはないと思えた瞬間でした。その後はまた淡々と船窪新道～七倉尾根をくだり、9時50分に無事七倉登山口に下山しました。七倉山荘で温泉に入り、ビールとダムカレーをいただき、帰宅の途についたのでした。